

ほうかつだより

『地域課題検討ケア会議』について紹介します。

『地域課題検討ケア会議』は、地域の住民の間で複数の方が同じように抱えている課題を見つけ出し（**地域課題発見機能**）、その解決のため住民や関係者同士が顔をあわせて協力し合える関係をつくり、自分らしく生活するために活用できるものを見つけ、作り出すこと（**地域づくり・資源開発機能**）を目的とする会議です。

① 地域課題



ある団地では、住民同士で集まる場所が少なく交流する機会が少ないと感じていました。

また、団地の高齢化も進んでおり、運動の機会などの介護予防の取り組みも必要だと感じていました。

② 会議の開催



そこで地域住民・関係者・久留米市・地域包括支援センターと一緒に解決策を話し合う『地域課題検討ケア会議』を開催しました。

③ 解決策



その結果、新たな集いの場ができました。ここで、定期的に交流会をしたり、介護予防の取り組み等を行えるようになりました。

ほかにも、地域課題検討ケア会議では、認知症の方が増えた、交通機関がなく買い物に困っている、などの内容を話し合ってきました。

このように、地域住民の一人一人の課題を地域全体の課題と考えると、その解決のために、関係機関を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを行っています。

地域課題検討ケア会議について、ご質問やお聞きになりたいことがございましたらお近くの地域包括支援センターまでお問合せください。